



小田原市の学校教育

学校教育における
目指す子どもの姿 未来を創るたくましい子ども

小田原市教育振興基本計画（令和5年度～令和9年度）

基本目標

一人ひとりの命を尊重し、
豊かに伸ばす自分づくり

地域ぐるみで取り組む
教育環境づくり

多様性を認め、生かしていく
教育のまちづくり

生涯学び、活躍する
社会を築く環境づくり

基本姿勢

誰ひとり取り残さない学びの推進

地域資源を生かした学びの推進

公民連携による学びの推進

おだわらっ子の約束の普及と実践

- 施策の展開
- 1 社会教育
 - 2 家庭教育支援
 - 3 幼児教育・保育
 - 4 学校教育・
地域とともにある学校
 - 5 学びの環境整備

※学校教育は、特に4を中心に重点施策を展開

令和7年度 教育指導の重点（目指す姿と方向性）

学 ぶ 力

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させるとともに、「指導と評価の一体化」を図ります。
身に付けた知識や技能を使い、対話や体験を取り入れながら、生涯にわたって学び続けられる取組を推進します。

- ・日々の学習指導や学習評価において、子ども一人ひとりを適切に見取り、伸ばす評価（点から線の評価）を実践します。★
- ・「主体的・対話的で深い学びの実現」、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に向けた指導の工夫・改善のため、エビデンス（全国学力・学習状況調査やステップアップ調査）に基づく授業改善に努めます。
- ・小田原の豊かな地域素材を教材とした、探究的・創造的な学びを推進します。
中学校の総合的な学習の時間では、「小田原版STEAM教育」の実践を進めます。
- ・積極的な授業公開に努めるとともに、授業研究や学習の成果を発信・共有します。
- ・デジタル教科書や学習支援ソフトなど、ICTを積極的に授業に導入します。
- ・社会の状況にしっかりと向き合い、意見を述べ、行動していく力を培う主権者教育に取り組めます。

豊かな心

文化・芸術に触れ、本物に出会い、体験することで、感性を育むとともに、個性や多様性を尊重し、他人を思いやるなど、豊かな人間性と社会性を育む取組を推進します。

小田原の自然や産業、文化、芸術、スポーツなど【こと】や【もの】との関わりをと
おして豊かな人生を歩む力を養います。

- ・教育活動全体を通じて、生命の尊さや人権を尊重する態度の育成を目指した、
人権教育を推進します。★
- ・「特別の教科/道徳」を要として、教育活動全体を通して道徳教育を推進します。
- ・インクルーシブ教育の視点から、支援教育の充実を図るとともに全ての子どもが
同じ場で学ぶ環境を整えます。
- ・子ども一人ひとりに寄り添った支援を心がけ、保護者や関係機関と連携した組織的
な相談・支援体制を構築します。

・発達支持的な生徒指導の充実を図り、不登校や
いじめ、問題行動等の未然防止、早期対応に組織的
に取り組めます。

社会力の育成

～子どもたち一人ひとりが充実した人生を送り、
より良い地域社会を創るために～

健やかな体

ライフステージに応じたスポーツ活動や食育を推進し、未病の改善や健康寿命の延伸を
図りながら、心身ともに健康で安全な生活を実現するための学びの機会を提供します。
生涯を通じて運動やスポーツに関わろうとする態度や、食事・運動・睡眠など健康で安全
な生活を自ら営むための知識や生活習慣を身に付けた児童生徒の育成を目指します。

- ・防災・防犯・交通安全・熱中症防止など、常に子どもの命と安全を最優先に考えるとともに、子
ども自身がどうしたらよいか考える力をつけていきます。★
- ・「新体力テスト」に基づき、健康の大切さを実感し、運動の楽しさや喜びを味わうことがで
きる体育授業の改善や、スポーツ活動等の充実を図ります。
- ・定期的な安全点検を実施し、安心・安全な学校づくりを推進します。
- ・地場産物や郷土の食文化を継承した給食を生きた教材として、食育の充実に取り組めます。
- ・中学校の部活動については、国の方針等を踏まえ、生徒の活動を確保できるような部活動の
在り方について検討します。

様々な交流や体験を通じて、ひとが多様な関わり合いの中で自立し、他者と協働
することで、生涯にわたって生き抜く力の育成を推進します。
学級や学年を超えた仲間や地域など【ひと】との関わりをとおして、自己肯定感を
もち、互いの良さを認め、高め合う力を育みます。

- ・小田原の豊かな自然や産業、伝統文化に関心を持ち、社会に主体的に参画しよう
とする態度の育成を目指します。★
- ・教育課程全般にわたり地域を中心とした【ひと・こと・もの】と関わる機会を創出します。
特に、学校行事では、体験的な学びを重視します。
- ・スクールボランティア活動を推進し、保護者・地域との関わりの充実を図ります。
- ・体験的な学びをとおした、福祉教育や環境教育の充実にも努めます。
- ・国外を含めた多くの人との関わりを設定するなど、国際理解教育に取り組めます。

「社会に開かれた教育課程」の実現を目指し、「カリキュラムマネジメント」の充実を図ります。
家庭や地域と連携協力し、一体となって子どもの健やかな成長を図るために、地域とともにある学校づくりを推進します。
各校の実態に応じて、全ての子どもが同じ場で共に学ぶインクルーシブ教育を推進します。

※各校では★の取組を学校評価の共通項目として設定します。

教職員の資質・能力の向上

教職員一人ひとりが自己研鑽するとともに、「チーム学校」として互いに学び合い、高め合いながら、それぞれの資質・能力の向上を図ります。子どもの学びと育ちを一番に考え、行動する、「組織人」としての意識の高い教師集団を形成します。

- 教育への熱意を持った教師 一人ひとりを共感的に理解し、伸ばしていこうとする姿勢、仕事に対する責任感や情熱がある
- 豊かな人間性を備えた教師 豊かな人権感覚を持ち、個人としても充実した生活を送っている
- 組織人として機能する教師 切磋琢磨し高め合うとともに、「チーム学校」として取り組む職員組織を形成することができる

働き方改革推進

教職員が心身ともに充実して子どもたちと向き合うために、教職員研修の充実および職場環境・働き方の改善を目指します。

- ・教職員の行うべき業務を明確化し、ICTを効果的に活用することで、働き方改革を推進します。
- ・「チーム学校」が機能するために、子どもの指導・支援に必要な多様な人材の確保に努めます。